

# 久慈川だより ～久慈川緊急治水対策プロジェクト から地域へのお便り～

和田 智也

久慈川緊急治水対策河川事務所 工務課 (〒313-0015 茨城県常陸太田市木崎一町700-1)

久慈川緊急治水対策河川事務所は、令和元年東日本台風(台風第19号)による久慈川への甚大な被害を受け、国・県・市町村が連携し多重防御治水対策を行う久慈川緊急治水対策プロジェクトを推進するためにできた事務所である。プロジェクトの取組を円滑かつ効果的に進めるには、流域にお住まいの皆様のご理解・ご協力が重要である。そのため定期的に事業の進捗を伝える方法として、HPでの広報、直接関係者へ回覧を行う久慈川だよりの作成を行っている。本稿では、久慈川だよりについて報告するものである。

キーワード 久慈川緊急治水対策プロジェクト、久慈川だより、広報

## 1. はじめに

令和元年東日本台風により、久慈川では国管理区間の堤防3箇所、県管理区間の堤防4箇所が決壊し、久慈川上流部の茨城県管理区間、常陸大宮市、大子町では至るところで越水、溢水が発生し、JR水郡線橋梁が落橋するなど、久慈川全川にわたって甚大な被害となった。

これらの甚大な被害を踏まえ、令和2年1月31日に、茨城県、沿川6市町村(日立市、常陸太田市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町)と連携して「久慈川緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめ始動した。このプロジェクトでは、被害の大きかった茨城県管理区間について、県知事より、大規模災害からの復興に関する法律に基づいた特定災害復旧等河川工事の施行要請があり、国が権限を代行し工事を行うこととなった。



写真-1 久慈川緊急治水対策事務所

久慈川緊急治水対策河川事務所は、プロジェクトにおける河道掘削、堤防整備等の工事、工事に伴う用地取得を担当し、地域の日も早い復旧・復興のため令和2年4月1日に、常陸太田市に開設された事務所である。(写真-1)

## 2. プロジェクトの概要

久慈川緊急治水対策プロジェクトは、令和6年度までの概ね5年間に、河道・流域における推進、a)河道の流下能力の向上、b)遊水・貯留機能の確保・向上、c)土地利用・住まい方の工夫の多重防御治水を推進するとともに、ソフト対策である危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置、マイ・タイムラインの講習など減災に向けた更なる取組を推進していくプロジェクトである。国管理区間では築堤3地区、霞堤整備3地区、5市村で河道掘削、権限代行区間では、常陸大宮市7地区、大子町では10地区の築堤・河道掘削工事を行っていく。

表-1 プロジェクト進捗状況一覧表(R4.2月時点)

### ① 国管理区間(築堤・霞堤)

地図記号	地 区	測 量 ・ 設 計			設計内容 の説明	用地調査	用地補償	工事
		地元説明	測量作業	設計作業				
㊸	神田町・堅磐田	●※2	●	○	●※1●※2	○	○	
㊹	本米崎	●※2	●	○	●※2	○	○	○※1
㊺	額田	●※2	●	○	●※1●※2	○	○	
㊻	宇留野・富岡	●※2	●	●	●※2	○	○	○※1
㊼	高渡・上大賀	●※2	●	○	●※1●※2	○	○	
㊽	塩原・辰ノ口	●	●	○	●※2	●	○	

② 国管理区間(河道掘削)

地図記号	地区	測量・設計		用地調査	用地補償	工事
		測量作業	設計作業			
①	東海村	●	○			○※1
②	日立市	●	○	○	○	○※1
③	常陸太田市	●	○			○※1
④	那珂市	●	○	○	○	○※1
⑤	常陸大宮市	●	○			○※1

③ 権限代行区間(築堤・掘削)

地図記号	地区	測量・設計			設計内容の説明	用地調査	用地補償	工事
		地元説明	測量作業	設計作業				
①	岩崎・小貴南	●※2	●	○	●※2	○		○※1※3
②	小貴北	●※2	●	○	●※1※2			
③	山方	●※2	●	○	●※2	○		○※1※4
④	西野内	●※2	●	○	●※2	○	○	○※1※4
⑤	舟生	●※2	●	○	●※2	○	○	○※1※4
⑥	家和楽	●※2	●	○	●※2	○	○	○※1※3※4
⑦	盛金	●※2	●	○	●	○	○	
⑧	西金	●※2	●	○	●※2	○	○	
⑨	須藤南	●※2	●	○	●※2	○		
⑩	須藤北[右岸]	●※2	●	○	●※2	○		
	須藤北[左岸]	●※2	●	○	●※2	○		
⑪	下津原	●※2	●	○	●※2	○		
⑫	袋田	●※2	●	○	●※2	○		
⑬	南田気	●※2	●	○	●※2	○		
⑭	久野瀬	●※2	●	○	●※2	○		
⑮	北田気	●※2	●	○	●※2			○※1※4
⑯	大子	●※2	●	○	●※2	○		○※1※3※4
⑰	矢田・川山	●※2	●	○	●※1※2	○※1		
⑱	下野宮	●※2	●	○	●※2	○		

●済 ○実施中 △準備中 ※1一部区間 ※2回覧または配布による ※3河道掘削 ※4堤防整備

3. 新型コロナウイルス対応による事業説明

5年間という短い期間の中で、測量設計、用地調査、用地取得、工事を行わなければならない、市町村、地元の方々の協力は必要不可欠ではあるが、事務所が発足した令和2年度の4月16日から茨城県でも新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、局からも感染拡大防止等を考慮しプロジェクト内容、測量等の地元説明は、集会方式の説明は自粛するよう指示があったため、区長等の限られた少人数に事業の説明を行い、地域へは回覧により行うような状況となった。

4. 久慈川だよりを配付するまで

久慈川緊急治水対策プロジェクトの事業概要、測量・設計等の今後のスケジュールについて令和2年4月から各地区の区長等への説明、新型コロナウイルスに配慮し地元住民への回覧を開始し、測量・設計等の業務発注手続きも並行して進めていたが、測量等が本格的に現地に立ち入るのは9月以降となり、測量を元に設計をまとめるまでには、さらに時間を要する。その間、地域住民にはプロジェクトの情報が伝わりにくい状況となっていた。プロジェクトの取組を円滑に進めるためには、流域におけるお住まいの皆様のご理解とご協力が重要である。

そのためプロジェクトの情報を発信する手段として、地域的な年齢層(表-2)からWEBサイトのみによる情報発信では伝わらないことが想定されたため、プロジェクトの事業内容、実施状況、進捗などを地域情報も絡めなが

らお知らせする事務所広報誌が必要と考え、自治体、地区の区長等の協力のもと事業の進捗を伝える手段として令和2年6月に「久慈川だより」(A4両面1枚)第1号を作成し、令和2年7月から配布を始めた。当初の配付地域は、久慈川緊急治水対策プロジェクトの工事箇所隣接する地域に限定し、該当地区の代表者、自治体の協力を得て事業説明回覧資料とともに配付を行った。(表-3)

表-2 1)プロジェクト関連市町村の高齢化率

R3.10月時点			
市町村名	総人口	高齢者人口	高齢化率
日立市	171,130	56,742	33.4
那珂市	52,874	17,444	33.1
常陸太田市	46,986	18,872	40.2
常陸大宮市	38,484	14,810	38.9
大子町	15,219	7,302	48.1
茨城県計	2,839,227	852,753	30.4
全国計	125,120,000	36,390,000	29.1

表-3 久慈川だより第1号配付地区と部数

久慈川だより第1号配付部数(R2.7時点)		
市町村名	地区数	部数
日立市	3地区	50部
那珂市	3地区	196部
常陸太田市	5地区	482部
大子町	19地区	166部

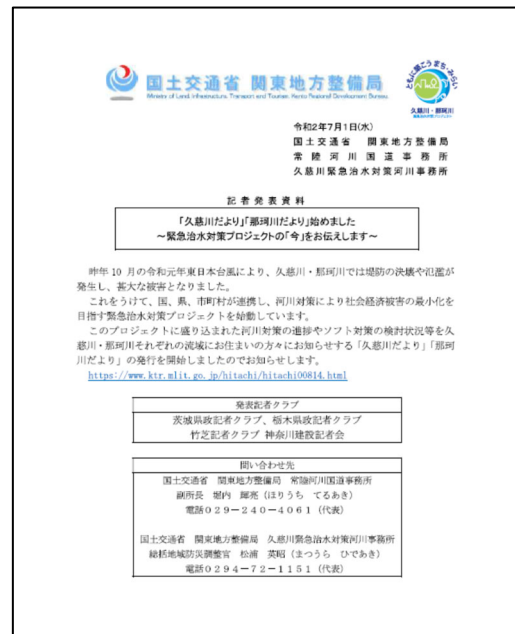


図-1 「久慈川だより」「那珂川だより」記者発表資料

新型コロナウイルス感染防止による住民説明会が開催できない状況においても、事業のスケジュール感、進捗状況を理解してもらうために、久慈川だよりは毎月の発行を行っている。

## 5. 久慈川だよりの構成

私は、令和3年4月に採用され、第11号より編集に携わってきた。第11号から第19号までは、久慈川だよりの構成を決めることはしておらず、各地区の担当として構成案に従いネタ作りを行っていた。第20号より、久慈川だよりの構成から編集すべて自分が作成を行っている。以下に、久慈川だよりの構成内容から工夫点等久慈川だよりを作成する上で特に意識していること、久慈川だよりを作成してきて感じたことや効果を示す。

### (1) 構成内容

久慈川だよりの基本的な構成内容は、工事の進捗状況、土地の境界立会、地元区長や工事関係者、関係自治体へのインタビュー、またその月の特色（鮎釣りの解禁情報や、出水期の避難情報等）を適宜構成に含めている。各地区の進捗状況等、最新の情報の掲載を行うため、日々地元関係者と話をしており、地域の方々が気にしていることを熟知している事務所職員が企画から編集まですべて行っている。

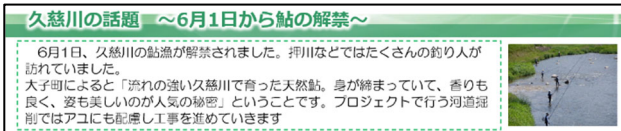


図-2 鮎釣り解禁(久慈川だより抜粋)

### (2) 工夫

#### a) 調査・工事着手前

工事を実施する前の設計や、土地の境界立会段階では、各地区において進捗状況が伝わりにくいため、現在の進捗状況、今後の予定をフロー図で示し、各地区の進捗状況を表で示すなど地元からの問い合わせに対応した内容をお知らせしたほか、現地での動きが少ない期間でも久慈川に興味を持って頂けるよう久慈川での治水の取組、水防に関する情報、過去の洪水などの歴史等を掲載している。(図-3)



図-3 自然災害伝承碑(久慈川だより抜粋)

#### b) より見やすくわかりやすく

各地区で、土地の境界立会、工事に着手した箇所は、現地での進捗状況が見えるよう、地域の方々に協力頂き境界立会を実施している状況、地元説明会をしている状

況、工事の進捗状況写真を随時掲載している。また高齢の方に配慮し文字のフォントを大きくし、極力文字を少なく読者の目線から掲載資料を作成している。(図-4)



図-4 工事実施状況(久慈川だより抜粋)

#### c) 地域の方とつくる久慈川だより

久慈川だよりの掲載ネタの1つとして、区長他へのインタビューを企画した。各地域との交流も含め、久慈川だよりを日頃お世話になっている地元関係者の方と作りたいという思いから始めた。今では、久慈川だよりの重要なトピックの1つとなっている。

事業の進捗状況を伝えるだけでなく地域の方とともにつくる久慈川だよりの作成を行うために、地元区長の久慈川への思いや、施工業者の地域への意気込み、用地補償等を行う事務についてご協力を頂くために市や町より土地開発公社へ出向されている職員へ被災時の記憶等を事務所職員がインタビューを行い「久慈川～この人に聞く～」というタイトルにて掲載している。(図-5)

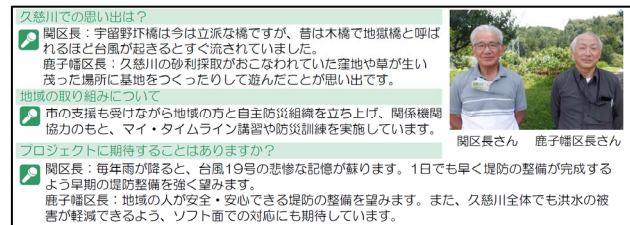


図-5 久慈川～この人に聞く～(久慈川だより抜粋)

#### (3) 効果

久慈川だよりを地域へ配布することにより、実際に地元の方々は久慈川だよりを見て事業の進捗が分かるとの声があり、効果を実感している。また、自治体職員が、地元の方々から事業の進捗状況を聞かれた際にも久慈川だよりが役立っているという話を伺っている。さらに令和3年11月より大子町発行の広報紙に久慈川だよりを盛り込みたいと要望があり、大子町の広報紙に実際に掲載してもらい、大子町全域にて久慈川だよりが行き渡っている(写真-2)。

常陸太田市でも、配付を行っていない地区の代表者より配付の要望があり配付を開始した。久慈川だよりの配付地域の拡大を契機に常陸太田市より配付地域追加の要望があり令和4年3月時点で10地区、約1,100部配付を行



っている。

常陸大宮市でも同じように要望があり令和4年4月より19地区、約2,600部配付を行う予定である。

当初は久慈川全川で事業関係地域のみ配付を行っていたが、令和4年3月時点では流域に住んでいる以外の方にも久慈川だよりが行き届き、多くの方に事業を知ってもらえている。(表-4)。

表-4 久慈川だより第22号の配付地区と部数

久慈川だより第22号配布部数(R4.4時点)		
日立市	3地区	50部
那珂市	2地区	46部
常陸太田市	10地区	1,095部
常陸大宮市	19地区	2,600部
大子町	21地区	638部



写真-2 広報だいてに掲載される久慈川だより

## 5. 今後の展望

久慈川だよりは当初、新型コロナウイルスによりたくさんの方が集まった説明会を開催できなかったため、事業の発信方法の1つとして始まったが、現在では、ただ事業の進捗を伝えるだけでなく地域の方のご協力もいただいで紙面の作成を行っている。これからも地元の方や自治体に協力いただけるように、地元、自治体からの要望や意見を反映し、ともに久慈川だよりを作成する。今後は、久慈川沿いの道の駅に、久慈川だよりを設置し、久慈川へ観光に来た方々にも、事業の情報が行き渡り理解と協力が得られるように対応していく。

## 6. おわりに

区長インタビューなど地域の方々の身近な話題を取り上げることなどにより「久慈川だより」を楽しみにしているとの声は多く、地域への広報となっている。また各地区において、用地取得、工事着手時期についての問い合わせも多いことから、令和3年6月発行から各地区の地元説明(回覧)、測量、設計、用地調査、用地取得、工事着手、工事完了等の進捗状況についてもお知らせしている。今後も用地取得、工事の進捗等が地域の方々に見えるよう工夫しながら継続していく。

### 参考文献

- 1) 茨城県HP：高齢化関連の各種データ